



## 【認知症の薬物療法②薬の選択】



## 園原 和樹 医師

## I. アルツハイマー型認知症とは？

アルツハイマー型認知症は（1）ゆっくり発病して持続的に進行する物忘れ（記憶障害）があり、（2）もの忘れにより日常生活が妨げられることを特徴とする病気です。

アルツハイマー型認知症の自然経過は、病気の初期から物忘れがあり、その後物忘れの進行とともに自分一人で日常生活を行うことが徐々に困難となります。最終的に、アルツハイマー型認知症の発病から5～10年で寝たきり状態となります（詳細については「令和3年冬号センター通信」を参照ください）。

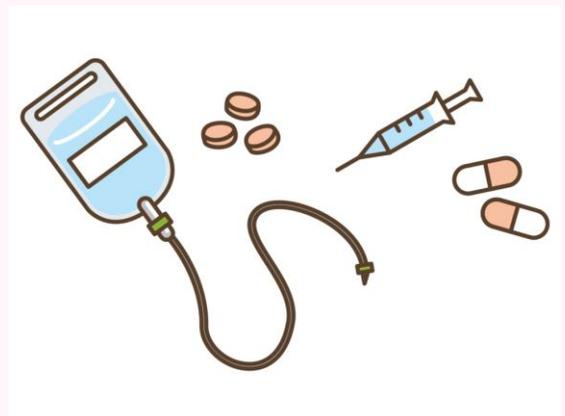
## II. アルツハイマー型認知症の治療薬

認知症の症状は中核症状、周辺症状の2つに分類されます。中核症状は脳細胞が壊れて減少することによる症状であり、記憶障害と認知機能障害の2つの症状が存在します。患者様全員に認められ、病気の進行とともに徐々に悪化します。周辺症状は中核症状に他の要因の影響が加わって出現した症状であり、精神症状や異常行動（幻覚・妄想、徘徊、睡眠障害、不安・焦燥、暴言・暴力など）があります。一部の患者様で認められ、病気の進行とともに悪化するわけではありません（詳細については「令和4年秋号センター通信」を参照ください）。

アルツハイマー型認知症の中核症状に対する治

療は、（I）脳細胞を壊す原因となる物資を除去して脳細胞が壊れることを防止する薬、（II）残された脳細胞を活性化して記憶障害の進行を遅らせる薬の2種類が存在します。（I）については、近年まで医療現場で使用できる薬が存在していませんでしたが、2023年後半にはじめてレケンビが承認され、2024年に長野県でも医療現場での使用が開始されています（詳細については、今後「認知症の薬物療法③アルツハイマー型認知症に対する新規治療薬」でお話しします）。（II）については、1999年にドネペジルが承認されたあと、ガランタミン、ドネペジル、メマンチン、リバスチグミンと4つの薬剤が承認されており、医療現場での使用経験が豊富です。（II）に共通した作用として（A）記憶障害の進行を遅らせる、（B）日常生活動作が維持される期間（一人で身の回りのことができる期間）を延長する、（C）家族が介護する時間を短縮することがあります。

アルツハイマー型認知症の周辺症状に対する治療には、抗うつ薬、向精神薬、抗不安薬、睡眠薬、漢方薬など様々な薬剤が存在します。薬の副作用の出現を最小限に抑えた症状ごとの使い分けが必要となります。



## お知らせ

認知症疾患医療センターの指定は5年ごとに行われております。

桔梗ヶ原病院も今回更新を行い、また5年間認知症疾患医療センターとしての活動を継続できることとなりました。

今後ともよろしくお願いいたします。

## チームオレンジという考え方

### 公認心理師/臨床心理士 中山聖悟

今、認知症対策の一つとして「**チームオレンジ**」の取組が進められています。

チームオレンジとは『認知症と思われる初期の段階から、心理面や生活面の支援を行うために、市町村がコーディネーターを配置し、地域において認知症の方々の悩みや家族の身近な生活支援ニーズを把握し、認知症サポーターを中心とした支援者をつなぐ仕組み』だそうです。

そしてチームオレンジには三つの基本があります。

一、 **認知症サポーター中心でチームが  
組まれている。**

二、 **認知症の人チームの一員として  
参加している。**

三、 **認知症の人と家族の困りごとを  
早期から継続して支援ができる。**

この3つの基本から認知症の人とサポーターが一緒になり、認知症本人や家族の支援を行う仕組みということがわかるかと思います。

ですが具体的に何をすれば良いのでしょうか。困りごとって何でしょうか。認知症の人が認知症本人を支えるとはどういう状態でしょうか。そこで厚生労働省が公開しているチームオレンジの取組みを拾い上げてみました。

- ☆ 認知症カフェの運営
- ☆ 見守りウォーキング
- ☆ 認知症カフェの広報活動
- ☆ 1人暮らしの方への声掛け
- ☆ 買い物への同行
- ☆ 犬の散歩代行
- ☆ 園芸ボランティア
- ☆ 有償ボランティア



この取り組み例をみますと、特別なことはしていないことがわかると思います。大切なところはこういった取組を「**やらなくてはならない**」ではなく、認知症の人と家族が困っている事柄に対して支援者が「**できる範囲の支援をする**」ということです。

普段は認知症カフェの運営をしつつ、助けて欲しい部分を支援者ができる範囲でお手伝いするチーム、それがチームオレンジだと考えています。

またそれとは別に**認知症予備軍の方の居場所**になるといいな、人の目を増やすことで病気の早期発見・早期治療に繋がるといいなと期待もしております。

医療法人社団 敬仁会 桔梗ヶ原病院  
〒399-6461 長野県塩尻市宗賀1295  
電話番号 : 0263-54-0012  
F A X : 0263-52-9315

桔梗ヶ原病院認知症疾患医療センター  
直通電話番号 : **0263-54-7880**  
F A X : 0263-54-7881  
Eメール : geriatric-medicine@keijin-kai.jp